

# 平成30年11月定例会

## 一般質問通告書一覧（12月10日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
 <p>( 9 番) 川田 裕 (無所属) 【一問一答】</p>	<p>1 荒井知事の地方公共団体の総合調整の取組への見解について</p> <p>奈良高校の耐震問題を始め、奈良県教育委員会の耐震化対策の杜撰さが社会問題に発展している。そこで荒井知事は地方自治法に基づく公有財産総合調整権の発動により、県教委に対し対応の報告を求めた。その回答が県教委からなされたが、内容は安全性について疑義があるものである。防災・県土強靱化対策特別委員会の知事部局担当者からの答弁では、教育委員会に内容を確認の上、必要な説明を求めていく旨が発言された。また医大附属病院及び西和医療センターに耐震性能が著しく低い建物があることも明らかになった。</p> <p>地方公共団体の長として、</p> <p>(1) 財務上の問題も含む奈良県教育委員会の耐震化及び意思決定について、公有財産の調整権者、予算調製権者としての見解を伺いたい。</p> <p>(2) 医大附属病院及び西和医療センターの耐震性能不足の施設については即使用停止レベルだが、予算調製権者としての見解を伺いたい。</p> <p>2 奈良県教育委員会においての「報道しているからもう十分」の委員発言について</p> <p>平成30年10月25日の教育委員会定例会の請願審査において、「奈良高校の耐震性能について奈良市から行政指導を受けた内容の詳細について、奈良高校保護者に説明を行う」旨の請願内容に対し、佐藤委員、高本委員から「マスコミ等で公表されているので公表は必要ない」旨の発言が行われた。その発言の意味を確認する。</p>	<p>知 事</p> <p>高本教育委員</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>( 9 番) 川田 裕 (無所属)</p>	<p><b>3 奈良県高等学校の耐震問題について</b></p> <p>防災・県土強靱化対策特別委員会において、奈良高校をはじめとする県教委の耐震化対策の杜撰な取組及び耐震性能等の確認を行ってきた。然しながら、過去の意思決定を覆すなど多くの法令等違反の疑義が発生している。また、知事に報告された耐震に関する報告では、「安全性はない」との答弁があり、高等学校耐震化に関わる取組の根拠等について確認する。</p> <p><b>4 県立高等学校適正化実施計画の意思決定の疑義について</b></p> <p>県立高等学校適正化実施計画が、平成30年6月8日に突如として公表された。しかし内容は、計画に対するパブリックコメントすらなく、教育行政の根幹である民意の反映に対する行動はなく、内容自身も多大な疑義が発生している。計画策定から決定までの意思決定及び県立高等学校適正化実施計画に関する疑義に対し確認する。</p> <p><b>5 県教委の責任について</b></p> <p>学校耐震化についての混乱に対する県教委の責任について質す。</p>	<p>教 育 長</p> <p>教 育 長</p> <p>教 育 長</p>
 <p>( 3 6 番) 新谷 紘一 (自由民主党) 【一括質問】</p>	<p><b>1 国際交流の推進について</b></p> <p>(1) 北朝鮮や中国、韓国など、日本を取り巻く東アジア地域の状況が変化していく中、恒久的な平和と安定を実現するためには、国同士の外交だけでなく、地方レベルでの東アジアとの交流が重要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 今年7月にサンパウロ市において「ブラジル日本移民110周年記念式典」が開催され、日伯の交流を深めた。このような交流は、日本とブラジル両国の相互理解の促進や友好関係の発展に寄与するものであり、今後も継続していくべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(36番) 新谷 紘一 (自由民主党)</p>	<p><b>2 スポーツツーリズムによる南部・東部地域の振興について</b></p> <p>豊かな自然環境や歴史文化遺産を活かした南部・東部地域におけるスポーツツーリズムの推進について、今後どのように取り組もうとしているのか。</p> <p><b>3 大和高原・東部山間地域における道路整備について</b></p> <p>(1) 通学路対策として現在整備を進めている、県道助命下荻線・山添村伏拝地内と県道上笠間八幡名張線・山添村毛原地内の整備状況について伺いたい。</p> <p>(2) 県道奈良名張線・山添村広瀬口から吉田、中之庄地内、県道都祁名張線・奈良市都祁白石地内、また、県道奈良名張線・山添村片平地内における、道路を安全かつ快適に利用いただくための対応について伺いたい。</p> <p><b>4 無電柱化の取組について</b></p> <p>県民の安全で円滑な交通の確保をはじめ、景観形成と観光振興などの観点から本県にとって重要な施策である無電柱化について、現在、どのような取組が行われているのか。</p> <p><b>5 女性が活躍できる社会の実現に向けた取組について</b></p> <p>女性の社会的地位の向上や女性が活躍できる社会を実現し、男女共同参画を推進するためには、固定的性別役割分担意識の解消など、正しい認識を培う教育が重要と考えるがどうか。</p>	<p>くらし創造部長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(13番) 森山 賀文 (国民民主党) 【一括質問】</p>	<p>1 民泊について</p> <p>法施行後半年が経過したが、民泊の全国的な傾向や本県の届出状況をどのように認識し、民泊に対してどのように取り組んでいくのか。</p>	知 事
	<p>2 へき地の歯と口腔の健康づくりについて</p> <p>健康寿命日本一を目指す本県として、お口の健康を支える歯科衛生士の役割の重要性を踏まえ、南部地域などへき地の歯と口腔の健康づくりをどのように進めていこうとしているのか。</p>	知 事
	<p>3 本県の人手不足対策と外国人の雇用状況等について</p> <p>本県の人手不足対策について、どのように取り組まれているのか。また、本県の外国人の雇用状況やニーズについてどのように認識しているのか。</p>	知 事
	<p>4 地域伝統芸能全国大会について</p> <p>伝統芸能などの無形民俗文化財は、地域振興にとって重要な役割を担っていると考えるが、来年樫原市で開催される地域伝統芸能全国大会への意気込みを伺いたい。</p>	地域振興部長
	<p>5 中和幹線の葛本町交差点と土橋町南交差点の渋滞対策について</p> <p>中和幹線の葛本町交差点と土橋町南交差点について、渋滞対策に向けた取組はどのように進められているのか。現在の進捗状況と今後の見込みについて伺いたい。</p>	県土マネジメント 部 長
	<p>6 天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う警備諸対策について</p> <p>「神武天皇山陵に親謁の儀」行幸啓に伴う警備諸対策の万全を期すものとするが、警察本部長の決意の程を伺いたい。</p>	警察本部長

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
 <p>(11番) 田中 惟允 (自由民主党) 【一括質問】</p>	<p><b>1 宇陀市とのまちづくり連携協定について</b></p> <p>県では、宇陀市とまちづくり連携協定を結んで共にまちづくりを進めているが、これまで宇陀市とどのような検討をされてきたのか。また、宇陀市長が宿泊事業者誘致断念や周辺の公園整備の規模縮小の考えを示されたことについて、現市長から相談を受けているのか。今後、県は宇陀市とのまちづくり連携協定を見直されるのか。</p> <p><b>2 公文書のペーパーレス化について</b></p> <p>国会や地方自治体、県議会においてペーパーレス化への動きが顕在化しており、例えば茨城県では、ほぼ100%の電子決裁を達成している。奈良県も積極的に電子決裁の導入を推進すべきと思うが、これに対する県の考えについて伺いたい。</p> <p><b>3 高齢者の在宅生活を支える医療介護連携について</b></p> <p>県では、地域包括ケアシステムの構築にむけて、在宅医療・介護の連携推進にどのように取り組んでいるのか。</p> <p><b>4 県道吉野室生寺針線の道路改良について</b></p> <p>県道吉野室生寺針線の道路改良について、現在の取組と今後の見通しを伺いたい。</p> <p><b>5 道路と河川について</b></p> <p><b>6 学校におけるICTを活用した教育について</b></p> <p>文部科学省の調査では、奈良県のICTを使った授業の進め方について、5つの指標があるが、すべての項目において、最下位や最下位に近い結果がでている。</p> <p>県教育委員会として、このような状況にあることを知ってから、すでに数年が経過しており、その対策をされていることと思うが、いまだに低位にあるのはなぜか。また、学校におけるICT環境の整備について現状及び今後の見通しも含めて伺いたい。</p>	<p>まちづくり推進局長</p> <p>総務部長</p> <p>医療・介護保険局長</p> <p>県土マネジメント部長</p> <p>【要望】</p> <p>教育長</p>